

## 別紙 保護者の皆さんから寄せられた 子供の健康にかかわる質問事項

### 1 アレルギー性鼻炎と診断されたが、原因が分からない

- A. 気になる場合は血液検査をすることがお勧めです。耳鼻科医によっては、慢性的な鼻炎や、副鼻腔炎などをアレルギー性鼻炎と診断することがあるので、原因をはっきりさせたい場合は早めに受診をしてください。

### 2 反対咬合が気になる。歯の矯正は何歳くらいからできるのか

- A. ①幼稚園や保育園の段階から反対咬合の子供は、上下の前歯が生え変わる時期まで一旦様子を見ましょう。  
②上下の前歯2本がすでに反対咬合の場合は、早めに歯科医師に相談してください。  
③上下の6歳臼歯がしっかり生えていたら、矯正の開始時期と考えてよいと思います。ただし、6歳臼歯が生える時期は個人差があるので、年齢的に何歳とは言えません。

### 3 歯の矯正にはどのような方法があるか

- A. ①金属をつけて、弾性のある針金で縛って歯を動かす装置が一般的です。

**欠点**: 歯が動くときに痛い、口内炎がしやすい、食事がとりにくい

歯につける金属を歯の外側につける装置なので、装置自体がとても目立つ。

今は金属ではなく、半透明のクリスタルを使用するものもある。

表から見えにくいように歯の内側につけるものもあるが、口内炎がでやすく、舌も荒れやすい、食事はもっと食べにくいし、会話もしにくい。(おススメしません)

**利点**: 確実に矯正ができるので、間違いがないし、装置装着期間が短くなる。

- ②家にいるときだけ、口に入れておく装置または歯列にはめ込む装置もあります。

**欠点**: 取り外しができるので、本人がしっかり入れて使用しないと、いつまでも歯並びは改善されない。歯に強い力をかけにくいので、歯は動きにくく、装置の使用期間が長くなる。

**利点**: 違和感は少なく、口内炎もできにくい。食事や会話にそれほど支障はない。

### 4 長期の休みの影響で、子供たちのむし歯はひどくなっているのか

- A. 家で歯磨きをしっかりやっていた子供はむし歯が確実に増えています。他の小学校でも同様でした。

### 5 歯磨きをするときに気を付けた方がいい部分

- A. 1・2年生は6歳臼歯、3・4年生は歯が交換したまわりの歯、5・6年生は歯と歯肉の境界部分。

### 6 仕上げ磨きは何歳ころまでして上げた方がいいか

- A. 手先の器用でない子供や歯磨き時間が短い子供(本人の歯磨き時間が1分以内の子供)は、仕上げ磨きが5年生まで必要です。一般的には3~4年生までと考えてよいでしょう。

### 7 その他

歯磨き粉の量は少なくしましょう。ブラシの半分に歯磨き粉がつくぐらいが量として適量です。